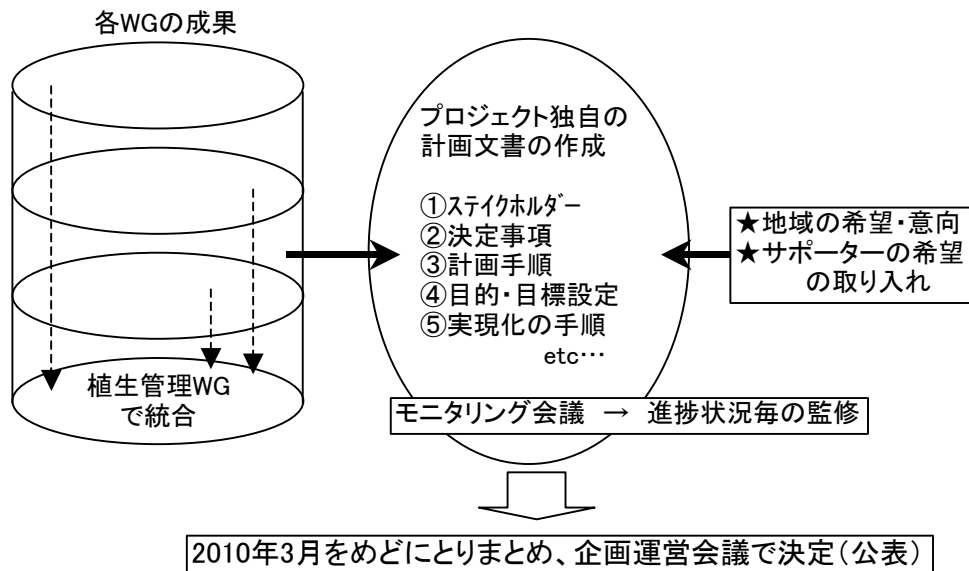


(赤谷プロジェクト 新規事業計画)

地域管理経営計画等への反映のための検討 (2008-2010年度、案)

- 目的 赤谷プロジェクトの目的達成のため、赤谷の森の管理方針等を規定する地域管理経営計画・国有林野施業実施計画に、赤谷プロジェクトの成果を反映させる。次期計画編成が2010年度に行われることから、2008年度から成果統合と検討作業を開始する。
- 検討内容
 - ① 自然環境モニタリングの成果やステイクホルダー（関係者）の意向を反映した、赤谷の森の「将来像」（景相や林相）、及びその合意形成手順。
 - ② 「将来像」を実現化するために必要なモニタリング項目や森林施業方針などの「工程」。
 - ①②を赤谷プロジェクト独自の計画文書としてとりまとめる（文書名は今後検討、ネーミングが重要）。
 - ③ 上記文書をもとに、地域管理経営計画・国有林野施業実施計画に記載する事項の抽出。次期計画期間（2011[平成 23]～2015[平成 27]年度）に実施する具体的施業の検討。
- 体制 植生管理ワーキンググループ内に検討の場を設ける。進捗状況ごとに自然環境モニタリング会議の監修を受ける。

(作業フロー)



(参考) -----

「赤谷プロジェクトの推進のための協定書」

第 10 条 2 関東森林管理局長は、赤谷プロジェクトで得られた知見については、地域管理経営計画等に反映するよう務めるものとする。